

がん専門医養成コース

がん専門的手技実地体験

主科目 副科目	外科・手技 Surgical simulation training	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	---------------------------------------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋	◎佐野 圭二	三浦 文彦 和田 慶太			澁谷 誠 (助手) 池田 豊 (助手) 高橋 邦彦 (臨床助手)
-					
-					

	外科・手技Ⅰ (1年次)				外科・手技Ⅱ (2年次)				外科・手技Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	がん医療に関する手技を体験し理解することで、中核病院勤務、地域診療所勤務のいずれでも必要とされる処置を確実にを行う能力を身につける。がん治療手術(参加あるいは見学、腹腔鏡手術のシミュレーション実習)、縫合実習(豚皮使用、ドライラボ実習)、に必要な技術を習得する。がん診療に必要とされる処置を確実にを行うことができる。				がん診療において行われる処置(中心静脈ポート留置、胃瘻増設など)の必要性を理解し、実際の手順を理解する。がん診療において行われた処置のトラブルに対して適切に対処できる能力を身に付ける。				中心静脈ポートや胃瘻などにおけるトラブルにも適切に対応できる医療人を養成する。手技能力をさらに熟成させるとともに、卒前教育、卒後教育を指導的立場で担当する。			
到達目標	がん診療に必要とされる処置を確実に行うことができる。				がん診療において行われる処置(中心静脈ポート留置、胃瘻増設など)の必要性を理解し、実際の手順を理解できる。				がん診療において行われた処置のトラブルに対して適切に対処できる。			
事前事後学修	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	講義・実習・演習の課題(60%) 報告発表(20%) discussion内容(20%)				講義・実習・演習の課題(60%) 報告発表(20%) discussion内容(20%)				講義・実習・演習の課題(60%) 報告発表(20%) discussion内容(20%)			

■主な演習(講義・実習含む)

	外科・手技Ⅰ (1年次)	外科・手技Ⅱ (2年次)	外科・手技Ⅲ (3年次)
板橋	金 曜日 16 : 30 ~ 18 : 00 消化器疾患特論Ⅰ	金 曜日 16 : 30 ~ 18 : 00 消化器疾患特論Ⅱ	金 曜日 16 : 30 ~ 18 : 00 消化器疾患特論Ⅲ
	火 曜日 18 : 30 ~ 20 : 00 内視鏡simulation	木 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 肝胆膵IVR実習	火 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00 ドライラボ実習
	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 30 臨床カンファレンス	火 曜日 13 : 00 ~ 16 : 30 臨床症例検討会	月 曜日 18 : 30 ~ 19 : 30 肝胆膵がんサーボード
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

- 「Knack & Pitfalls 肝臓外科の要点と盲点(第2版)」幕内雅敏編(文光堂)
「Knack & Pitfalls 胆道外科の要点と盲点(第2版)」二村雄次編(文光堂)
「Knack & Pitfalls 膵脾外科の要点と盲点(第2版)」木村理編(文光堂)

その他履修上の注意事項

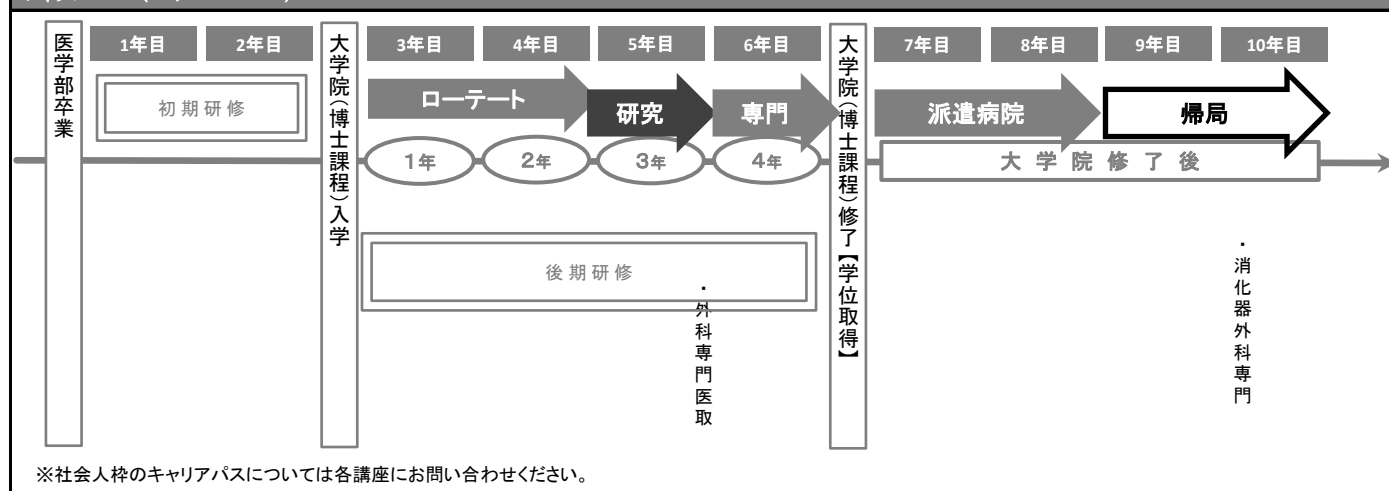
講義・実習・演習の詳細については個別に案内。
試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	肝胆膵・移植外科学(4ヶ月)、上部消化管外科学(4ヶ月)、下部消化管外科学(4ヶ月)、乳腺腫瘍学(3ヶ月)、呼吸器外科学(3ヶ月)、心臓外科学(2ヶ月)、小児外科学(2ヶ月)、麻酔科学(2ヶ月)などを履修する。
	共通科目	消化器疾患特論、腫瘍治療学特論Ⅱ(選択)

関連する専門医資格

外科専門医(日本外科学会) <http://www.jssoc.or.jp/>

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。